

図書館ホームページの魅力〈29〉

～テーマから本を探す～

大溝 浩紀

当図書館のホームページを開くと、ページの中ほどに“国際ビジネスマンを目指して”というコーナーがある。このコーナーはその名の通り国際ビジネスマンを目指す者にとって手助けとなる資料情報がまとめられたデータベースである。バナー画像をクリックすると、シンプルというよりは淡白という言葉の似合う青と白を基調としたページが現れる。その淡白なページをスクロールすると、上から順に、商用語学・時事語学・工業語学・国際的な諸学・世界市場で働くために・職業・国際文化・指導者育成論・団体刊行物の9つの大きな分類の下に、それぞれのテーマごとに細分化されたリンクが設けられている。何れのリンクも当館ホームページ蔵書検索画面に繋がり、あなたの選んだリンクの検索結果が表示される。例えば商用語学の欄で「ビジネス英語」のリンクをクリックすると、「英文契約書のための和英用語用例辞典」、「英文契約書の法実務」、「英文メールのA to Z」など、該当書籍の一覧が検索結果として表示される、という具合である。無論、書名をクリックすると書籍の情報が手に入る。中でもオススメは“指導者育成論”のコーナーである。一般に、大卒就職者には将来の幹部候補としてリーダーシップの能力が期待される。“指導者育成論”の欄では、正にリーダーシップを論じた様々な書籍の情報がずらりと並んでおり、向上心の高いあなたの手助けとなるだろう。

それでは、なぜ本を読むことが大切か。それは読書という行為を通じ、先人（著者）が数年、

あるいは数十年の苦勞をかけて得た知識や成功をせいぜい2,000円程度の出費で疑似体験し、要点を押さえられる点にあると私は考える。出来れば本は自腹で購入することが望ましい。何故なら自腹で買った本は借りた本に比べて吸収率が高くなるからである。しかしながら経済的に完全に自立することが困難な学生にとってそれは容易ではない。そういった意味で学生時代に積極的に図書館を利用することは大変有意義であると思う。余談だが、“指導者育成論”で表示される本の多くはベストセラー（第1閲覧室）と就職関連図書（第2閲覧室）の棚に配架されている。

少し話がそれたので、“国際ビジネスマンを目指して”の画面に眼を戻す。このコーナーはその名前からビジネスに特化した書籍ばかりが紹介されていそうであるが、実際のところ、国際的な諸学・世界市場で働くために・団体刊行物などの欄のリンクを見ると、政治、経済、国際法、安全保障など学問的な分野も多い。あるいは、卒業論文作成時の文献探しにも有用かもしれないし、講義の予備知識として役立つ書籍との出会いをもたらすものになるかもしれない。したがってこのコーナーは、ビジネスを意識した実利志向の方のみならず、知的好奇心や向上心を持つあらゆる人に数多くの良著との出会いを提供するサービスであると言えよう。

おおみぞ ひろき（2012年度中国語学科卒業生）